

## 議 事 録 兼 報 告 書

会議等名称	平成27年度 伊那市子ども・子育て審議会
日 時	平成28年2月22日(月) 午後6:30～7:30
場 所	市役所 502会議室
欠 席 者	小澤篤委員 下島英喜委員 滝芳樹委員 小椋美恵委員
議 題	(1) 保育園整備計画(後期計画)について (2) その他
議 事 内 容	
<p><b>3 協議事項</b></p> <p>(1) 保育園整備計画(後期計画)について</p> <p>&lt;事務局&gt; 資料により説明をする。</p> <p>《質疑応答》</p> <p>&lt;委員長&gt; 第1章から第3章までについて各委員へ質問・意見を求める。</p> <p style="text-align: center;">— 質問・意見なし —</p> <p>&lt;委員長&gt; 第4章について各委員へ質問・意見を求める。</p> <p>&lt;委 員&gt; 高遠第1保育園は平成28年で廃園になるのか。</p> <p>&lt;事務局&gt; 高遠第1保育園と高遠第4保育園は、平成27年度で廃園となり、平成28年度から現在の高遠第1保育園を高遠保育園としてスタートさせる。</p> <p>&lt;委 員&gt; 現在14名が通っていると聞く。廃園により地区外へ通うことになるのか。保育園は地域に根付くのが理想だ。</p> <p style="padding-left: 2em;">緑ヶ丘幼稚園には、箕輪からも園児が来ている。年々子供は増えてきている。市も企業誘致だけでなく若い人たちが定住するような政策が必要だ。</p> <p style="padding-left: 2em;">伊那市にも小黒川の上流など素晴らしい場所がある。多角的に考えることも必要ではないか。</p> <p>&lt;事務局&gt; 高遠保育園は、高遠小学校下の高遠第1保育園と、河南地区の高遠第4保育園を統合する。高遠第4保育園は土砂災害警戒区域に入っている。統合は危険回避の面もある。新保育園の建設は、用地の確保ができ次第建設に入りたい。</p> <p style="padding-left: 2em;">また審議会でも、人口増に向けた子育てがしやすい伊那市となるよう提言を頂けたらありがたい。</p> <p>&lt;委 員&gt; 資料P15(5)について、高遠第2・第3保育園は定員の半分の子供の確保ができたとの報道があったが、平成28年度は存続するのか。</p>	

- <事務局> 存続する。
- <委員> 資料P17(3)について、素晴らしい事業だと思うが、芝生の管理は大変だ。多少は手を入れていく必要があるのではないか。
- <事務局> 全く管理をしないわけではない。  
園庭には自然に生えてくるタンポポやクローバーがあっても良いのではないかと。子供の遊び道具にもなる。自然な園庭を目指していきたい。
- <委員> 資料P16の廃園施設処理計画について、建物は原則取り壊しとあるが、全てを取り壊すのではなく、地域のお年寄りが集まれる施設等にできれば良いのではないかと。
- <事務局> 後利用できる施設はその方向を検討していきたい。
- <委員長> 西箕輪北部保育園も後利用を検討したが、利用の希望はなかった。  
地域からの要望があれば反映させてほしい。

その他質問・意見はなく、内容については了承

(2) その他 なし

#### 4 その他

- <事務局> こども・子育て支援事業計画 個別事業実施計画について説明
- <委員長> 各委員へ質問・意見を求める。
- <委員> 〈基本方針1〉4のNo.32「ながの子育て家庭優待パスポート事業」は、月刊上伊那に掲載された記事のことか。
- <事務局> そのとおり。
- <委員> 〈基本方針2〉3のNo.16「乳幼児とのふれあいの場の提供」について、伊那西高校と高遠高校で実施をしている。今の若者は乳幼児に触れる機会がない。結婚して子供を産もうとする気持ちにさせるためにも子どもと触れ合う機会が必要ではないか。他の3校でも何らかの形でできれば良い。

その他質問・意見はなし

- <事務局> こども・子育て審議会の今後の進め方について説明
- ① 来年度は部会を設け、基本方針ごと課題に対し検討をお願いしたい。
  - ② 年3～4回程度部会を開催し、審議会として子育てをしやすい環境の整備に向けた意見をまとめてほしい。
  - ② 部会分けは委員長・副委員長と相談させていただく。

質問・意見はなし